

平成27年度

事業報告書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

公益財団法人 ノーマライゼーション住宅財団

平成27年度 事業報告書

【平成27年度の環境認識】

当財団は、平成元年10月設立後27年目を迎え公益移行後4年目が終了しました。平成27年度の我が国経済をみると、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を柱とする経済財政政策の推進により、雇用・所得環境が改善し、原油価格の低下等により交易条件が改善する中で、緩やかな回復基調が続いている。ただし、年度前半には中国を始めとする新興国経済の景気減速の影響等もあり、輸出が弱含み、個人消費及び民間設備投資の回復に遅れがみられた。

また、北海道の経済状況をみると、個人消費は一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しつつ設備投資は大型投資が下支えし、総じてみれば堅調に推移している。観光関連では東南アジア諸国を中心に外国人観光客の大幅増加が続いている。

今後を展望すると、個人消費は、雇用・所得環境の改善を背景に持ち直しが見込まれ、住宅投資は回復基調が続き、公共投資は減少となろう。設備投資は、エネルギー関連の大型投資や北海道新幹線・新函館北斗駅が開業し、ホテルの新築・改装などが下支えし、観光関連は、外国人観光客の大幅増加が続き好調に推移される。

【基本方針】

当財団は、「すべての人が共に生きることがノーマル（正常）である」というノーマラゼーションの理念に基づき、高齢者や障がい者が安全で安心して暮らせる住生活環境の整備・向上を通して、すべての人が生きがいをもって生活できる社会づくりと社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

〈事業報告〉

I. 福祉住宅支援事業（公益目的事業1）

(1) 助成金による福祉住宅建築支援

高齢者や障がい者が安心して快適に暮らすことのできる福祉住宅及び福祉小規模集合住宅（以下「福祉住宅」という）の向上・普及を目指す27年目の支援事業の取り組みを行いました。

福祉住宅として、新築及びリフォームした建築主を対象とした建築助成事業に新築が5件・リフォームが10件の合計15件の応募申請がありました。昨年より応募数が4件増え、菊地理事を審査委員長として、大阪理事、西代評議員、小西評議員の他、

外部審査委員 4 名、計 8 名の有識者による審査委員会において厳正な審査の結果、総額 300 万円の予算内助成総額 236 万円（累計 6,876 万円）を助成金として給付を行いました。

(2) 情報誌「ふれあい」の刊行

情報誌「ふれあい」は、福祉住宅助成建築主へ直接取材をさせて頂き、日常生活の現状や介護面の参考となる事例集を数多く掲載、毎年継続し年 1 回の発行をしています。賛助会員の皆様をはじめ、地方自治体や社会福祉協議会、北海道難病連、教育研究機関や福祉団体等の関係先に幅広く無料配布させて頂き、また、講演会での参考資料等に、あるいは病院・リハビリテーションの理学療法士の方々の資料とさせて頂きなど数多くの皆様に役立たせて頂きました。

平成 27 年度は、3,000 部を発行し幅広く利用しました。

II. ノーマライゼーション啓発事業（公益目的事業 2）

(1) 小中学生による「安全・快適アイデア」コンテスト実施

平成 27 年度で 20 回目となったコンテストは、高齢者や障がい者も家庭はもとより外出先においても、快適な環境で生活ができることを目的として、全道の小中学生を対象に募集したところ 16 校、個人で 2 件の応募があり合計 949 名と数多くの児童生徒さんからの応募がありました。今回は昨年より 224 点多い応募数でした。

少子高齢化等による小中学校の統合や廃校が考えられ中、学校全体で応募して頂けるケースが目立ち応募校は少ないが応募件数が増えました。毎年 4 月上旬に全道の小中学校及び児童会館等にポスター・応募要項等お送りしました。

平成 27 年度も二日間かけて審査を行い、大阪理事を審査委員長とし、菊地理事、西代評議員の他、外部審査委員 4 名の計 7 名の有識者による審査委員会を実施し、厳正な審査の結果、58 名の各賞を決定しました。

当財団の冊子「ウィズライフ 第 43 号」と北海道新聞での新聞記事等による掲載、札幌地下街「オーロラコーナー」での 3 日間の展示、及び応募学校には入賞者結果発表報告を行い、より多くの人に啓発事業を知ってもらうことができました。

(2) 広報誌「ウィズライフ（共に生きる）」の刊行

ノーマライゼーションを推進している人の対談やインタビューの他、福祉機器や設備など役立つ情報を紹介する同誌を年 2 回、計 6,000 部（2 回×3,000 部）発行。当財団の冊子「ふれあい」と同様、賛助会員の皆様をはじめ、地方自治体や社会福祉協議会、北海道難病連、教育研究機関や福祉団体等の関係先に幅広く配布し、また、講演会の資料として、数多くの地域の皆様に役立つことができました。

平成 27 年度「ウィズライフ（共に生きる）第 42 号」には、テーマ「旅もユニバーサルデザインで」という表題で、近くの海や山、温泉に出かけるだけでも旅行気分が味わえ、そうした楽しみを、年齢や障がいのあるなしを問わず全ての人が安全・快適に味わうことが出来るよう、コーディネーターが移動手段や宿泊施設などを手配するユニバーサルデザイン（UD）の観光「ユニバーサルツーリズム」の紹介とUD観光の現状を楽しんでいる方の体験談を紹介しております。

Ⅲ. 福祉事情事業

（福祉事情の視察）

当財団が設立以来毎年実施している福祉研修視察は、九州方面の福祉事情を視察計画しました。視察先は、九州の大分・熊本・福岡の 11 月 19 日～23 日の 5 日間で、各理事・評議員・賛助会会員の皆様から参加者を応募し総勢 8 名の団員で実行いたしました。計画を立てるにあたり、日程や各施設の訪問先スケジュールが難しく施設側の事情もあり、断られたところも数多くありました。別府の総合リハビリテーション「太陽の家」を始め 5 つの各施設を訪問。重度の視覚障がいや聴覚障がいと知的障がい者の施設「熊本ライトハウス」や家族と暮らせない子どもたちの「SOS子どもの村」または、認知症対応型通所介護施設「第 2 宅老所よりあい」等の民間施設や自立生活出来る高齢者医療ケア施設等を視察。帰社後団員全員に報告レポートを書いて頂き詳細報告書（平成 27 年度九州ノーマラゼーション福祉研修報告書）を作成し、関係機関先等へ配布しました。

今後も継続して福祉向上に役立つ情報の収集と提供を行っていきます。

Ⅳ. 拠出金・協賛金・セミナー事業

（福祉関連事業への取り組み）

諸団体と共に社会福祉に取り組む一環として、例年同様、平成 27 年度は「日本赤十字社へ活動資金の寄付協力」、「国境なき医師団」、「北海道難病連への募金」、「北海道盲導犬協会に支援寄付」等々数多くの支援継続を行いました。

また、毎年道内各地で行われている北海道新聞社主催の「マイホーム教室」または、他セミナーの後援団体に参考資料・冊子などを提供いたしました。

「マイホーム教室」のセミナーでは、今後の福祉住宅や住環境のあり方について西代評議員・川本理事に講演して頂き、安全、安心、快適な生活について等、これからの住まい造りなどをお話して頂き、多くの皆様に役立つことができました。

V. その他

福祉住宅支援事業・ノーマライゼーション啓発事業を推進するため、公共の場所でのポスターの掲示や一般紙、地方紙、業界紙による紹介記事の掲載に努めるとともに、コミュニティラジオ「FMアップル」に出演し「ノーマライゼーション住宅財団の事業について」紹介しております。

VI. 賛助会員及び寄付について

【平成 27 年度 賛助会員状況】

*平成 28 年 3 月末日現在 [個人会員 148 名・法人会員 62 社 計 210 名]

(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月) の加入・退会

新規会員加入～個人会員 6 名

退会～個人会員 8 名・法人会員 3 社

*他に 13 件の寄付金を頂いております。

《 理事会 》

*第1回 理事会

- 1、日 時 平成27年5月18日(月曜日) 午後1時から
- 2、場 所 ホテル札幌ガーデンパレス 4階 高砂
札幌市中央区北1条西6丁目
- 3、決議事項 第1号議案 平成26年度事業報告の承認について
第2号議案 平成26年度決算報告及び監査報告の承認について
- 4、報告事項 代表理事・副理事長の職務の執行の状況の報告

*臨時理事会の書面決議【理事会の招集の決定】

理事会の決定があったものとするみなされた事項の内容

「平成27年度評議員会の追加議案に係るご提案」の件

(1) 理事会開催の日時及び場所

理事会を書面決議にて開催する。

(2) 議題、議案

第2号議案 理事の任期満了に伴う理事の選任について

理事会の決議があったものとみなした日

平成27年6月6日(土曜日)

*臨時理事会の書面決議【理事会の招集の決定】

理事会の決定があったものとするみなされた事項の内容

「代表理事たる理事長、代表理事たる副理事長選定の係るご提案」の件

(1) 理事会開催の日時及び場所

理事会を書面決議にて開催する。

(2) 議題、議案

代表理事たる理事長、代表理事たる副理事長選定

(1) 土屋 公三を代表理事たる理事長に選定する

(2) 土屋 昌三を代表理事たる副理事長に選定する

理事会の決議があったものとみなした日

平成27年6月9日(火曜日)

＊臨時理事会の書面決議「評議員会の招集の決定」

評議員会の決議があったものとするみなされた事項の内容

平成 27 年度公益財団法人ノーマライゼーション住宅財団評議員会の招集の決定

(1) 評議員会開催の日時及び場所

日時：平成 28 年 3 月 24 日（木）午後 1 時から

会場：ホテル札幌ガーデンパレス 4 階 高砂の間

札幌市中央区北 1 条西 6 丁目

(2) 議案

第 1 号議案：平成 27 年度収支補正予算

第 2 号議案：平成 28 年度事業計画及び収支予算

第 3 号議案：特定個人情報取扱規程承認

(3) 報告事項

1、理事会・副理事長の執行の状況の報告

2、新任評議員 牧野 利春氏の報告

理事会の決議があったものとみなした日

平成 28 年 2 月 25 日（木曜日）

＊第 2 回 理事会

1、日 時 平成 28 年 3 月 24 日(木曜日)午前 11 時から

2、場 所 ホテル札幌ガーデンパレス 4 階 高砂

札幌市中央区北 1 条西 6 丁目

3、議 案

第 1 号議案 『平成 27 年度収支補正予算』の件

第 2 号議案 『平成 28 年度事業計画及び収支予算』の件

第 3 号議案 『特定個人情報取扱規程』の件

第 4 号議案 『特定費用準備金積立』の件

第 5 号議案 『評議員会の招集』の件

4、報告事項

1、理事長・副理事長の職務の執行の状況の報告

2、第 20 回小中学生による「安全・快適アイディア・コンテスト」結果報告

3、平成 27 年度『福祉住宅建築助成支援事業』結果報告

4、新任評議員 牧野 利春氏の報告

《 評議員会 》

*第1回 評議員会

- 1、日 時 平成27年6月9日(火曜日)午前11時から
- 2、場 所 ホテル札幌ガーデンパレス 4階 高砂
札幌市中央区北1条西6丁目
- 3、決議事項
第1号議案 『平成26年度決算報告及び監査報告』について
第2号議案 『役員理事任期満了に伴う理事の選任』について
- 4、報告事項
 - 1、『平成26年度事業報告』の件
 - 2、理事長・副理事長の職務の執行の状況の報告

*臨時理事会の書面決議「評議員会の招集の決定」

評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

平成27年度公益財団法人ノーマライゼーション住宅財団評議員会の招集の決定

- (1) 評議員会開催の日時及び場所
評議員会を書面決議にて開催する。
- (2) 議題、議案
第1号 議題：評議員の選任
議案：候補者 牧野 利春氏を推薦する。
- (3) 報告事項
理事会の決議があったものとみなした日
平成28年2月15日(月曜日)

*第2回 評議員会

- 1、日 時 平成28年3月24日(木曜日)午後1時から
- 2、場 所 ホテル札幌ガーデンパレス 4階 高砂
札幌市中央区北1条西6丁目

3、議 案

- 第 1 号議案 『議長及び議事録署名人の選出』の件
- 第 2 号議案 『平成 27 年度 収支補正予算』の件
- 第 3 号議案 『平成 28 年度 事業計画及び収支予算』の件
- 第 4 号議案 『特定個人情報取扱規程』の件

4、報告事項

- 1、理事長・副理事長の職務の執行の状況報告
- 2、第 20 回小中学生による「安全・快適アイデア」コンテスト結果報告
- 3、平成 27 年度『福祉住宅建築助成支援事業』結果報告
- 4、特定費用準備資金積立の報告
- 5、新任評議員 牧野 利春氏の報告

以上